



令和5年3月10日

株式会社メディアシーク

代表取締役社長 西尾 直紀  
(コード番号:4824 東証グロース)  
問合せ先 取締役業務管理部長  
根津 康洋  
(TEL 03-5423-6600)

各 位

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和4年9月9日に公表いたしました令和4年7月期(令和4年8月1日～令和5年7月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 令和4年7月期 通期連結業績予想数値の修正

(令和4年8月1日～令和5年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	902	21	26	20	2.05
今回修正予想(B)	902	30	42	32	3.28
増減額(B-A)	—	9	16	12	—
増減率(%)	—	42.9	61.5	60.0	—
(ご参考) 前期実績 (令和4年7月期)	887	40	74	55	5.67

## 2. 修正の理由

### 【営業利益】

第2四半期連結累計期間においては概ね予想された売上高の計上に対して、効率的に事業を展開できたため外注費及び諸経費等の費用の発生額が予想に対して発生しなかった事に伴い当初予想額を上回る営業利益を計上しました。第3四半期連結会計期間以降については、引き続きコーポレートDXやライフスタイルDXにおける受注状況が堅調に推移する見込みであり、また、継続して効率的に事業を展開できる見通しではありますが、これらのセグメントで発生した利益を主にブレインテック・DTxの分野の研究開発及び新規事業促進の活動に積極的に投下する方針といたします。このため、第3四半期連結会計期間以降に計上される営業利益は限定的な値になると見込まれます。以上の理由より、令和5年7月期の営業利益については、当初は21百万円を想定しておりましたが、30百万円となる見通しであります。なお、第2四半期連結累計期間末時点におけるブレインテック・DTxの分野の事業進捗の状況は概ね計画通りとなっております。

### 【経常利益】

第2四半期累計期間においては上記要因に加えて好調な投資運用益を計上したことに伴い35百万円の経常利益を計上いたしました。令和5年7月期の連結業績予想において、経常利益については26百万円を予想しておりましたが、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、上記要因により営業利益が当初見通しより増加することになったことに伴い42百万円となる見通しであります。

### 【親会社株主に帰属する当期純利益】

令和4年9月9日に公表いたしました令和5年7月期の連結業績予想において、親会社株主に帰属する当期純利益については20百万円を想定しておりましたが、上記要因により営業利益及び経常利益が当初見通しより増加する見通しとなったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は32百万円となる見通しであります。

その結果、令和4年9月9日に公表いたしました令和5年7月期通期連結業績予想の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、予想を上回る見通しとなったことから上記の修正を行うものです。

(注)本業績予想は、本資料発表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づき作成しております。本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

以上